

2013 ワークショップ開催報告

2013 ワークショップ実行委員会

会 期：2013 年 10 月 17 日（木）～18 日（金）

会 場：ラフォーレ修善寺（静岡県伊豆市）

修善寺ワークショップは、ラフォーレ修善寺（静岡県伊豆市）を開催地とし、1991年に始まり今年で23回目を迎えました。本ワークショップは、宿泊を基本、ノースーツ／ノーネクタイ、撮影／録音禁止をルールとし、参加者全員が双方向のディスカッションを通じて実装技術の現状と課題及び将来像を幅広く自由に討論し、かつ人的な交流を深めることができるものとして、毎年10月の下旬に開催されています。参加者は、昨年とほぼ同数の総数65名でした。

今回は、メインテーマを「サステナブル社会実現に向けた実装技術の貢献」、サブテーマを「驚きと感動を与える”何か”を実装で実現しよう」と定め、日本の実装技術が世界の中で勝ち抜くためのキーテクノロジーとなる技術（実装プロセス、実装材料、回路基板、信頼性・解析、MEMS、先端パッケージ、接合、ナノテク、実装設計、光実装）発表がポスター形式により行なわれました。発表件数は例年約30件としておりましたが、今回は、より深い議論を行えるように、発表件数を大幅に増やし47件の発表が行われました。また、1日目に、ナイトセッションと2日目に特別講演が行われました。

初日は、遠方からの参加者の利便性を図るため、13時00分からの登録開始としました。その後、笹岡達雄ワークショップ実行委員長（パナソニック）からの今回のワーク

ショップの趣旨説明、スケジュール及びルールの確認がありました。

第1セッションのアブストラクトトークでは、各発表者に約3分間で発表要旨や技術ポイント、ディスカッションしたい点などの説明をして頂きました。その後、第1セッションのポスター発表（23件）がありました。どのポスターの前でもサンプルや資料を手に活発に議論を交わし、熱心にメモを取る様子が見受けられました。

ポスターセッションの終了後、部屋割りが発表されました。夕食までの時間で、温泉で汗を流してくつろいだ時間を過ごされた方もいらっしゃったようです。

立食形式の夕食の後、第2セッションは、各部屋に討論資料を持ち込んでのフリーディスカッションを行いました。部屋ごとに、互いの技術課題や、実装技術の将来像、所属している会社、大学、研究機関のトピックスなどを語り合い、各部屋とも夜更けまで大いに盛り上がっていました。

第2セッションと並行して、アクティブリンク株式会社代表取締役社長 藤本弘道氏から「人と機械の新たな関係を創る」というテーマでナイトセッションが行なわれました。近年、パワーアシスト機器は、農業、重作業や医療福祉（介護等）等の重労働の負担軽減を図るが注目され、一般向けのニュース等で報道されているところです。今回のナイトセッションでは、パワーアシスト機器の開発を最前



趣旨説明する笹岡委員長



ポスターセッション



ナイトセッション

線について御講演頂きました。パワーアシスト機器には、低出力から高出力の用途があり、それぞれのニーズ・用途について説明があり、その後、開発中のパワーアシスト機器の映像が紹介され理解が深まったところです。御講演では、ニュース等では報道されない本音の部分についても語って頂き、業界をリードしていく難しさを感じたところでもあります。

2日目の第3セッションは、アブストラクトトークの後、ポスター発表（24件）がありました。1日目と同様に、どのポスターにも人だかりができ、活発に議論を交わし、熱心にメモを取る様子が見受けられました。

昼食を挟んでのポスター発表終了後、株式会社アクアビット 代表取締役 チーフ・ビジネスプランナー 田中 栄氏から「未来予測 2013-2025」というテーマで特別講演が行なわれました。内容は、我々実装に携わる者に馴染みがある「クラウド・コンピューティング」について焦点を合わせた御講演でした。御講演では、コンピュータの発達の歴史（入力方法の推移、システム構成）、クラウドコンピューティングでは、主要な処理がデータセンターで行われていること、ビッグデータは、様々な「予測」を可能にすることが説明されました。そして、どのようにビジネスに使われていくかについて、いくつかの実例（「スマートテレビ」「電動モビリティ」「エネルギー／住宅」「小売流通」「医療・ヘルスケア」）が紹介されました。更に、今後、広がっていくであろうビジネス分野が示され、その広がり大きさに多くの方が興味を持たれたことと思います。

本ワークショップ終了後のアンケートでは、期待したもの、あるいは参加しただけの成果が得られたとの御意見を多くの参加者の方々から頂きました。一方で参加者の方から1日目と2日目の発表プログラムの組み方、発表者の方から他のポスターを見る時間がもう少しあると良いなどの御意見も頂きました。多くの方々から頂きました貴重な御意見を来年以降の運営に反映させて行きたいと思います。

本ワークショップで得られた成果が、新しい事業のきっかけとなれば幸いです。最後に、御発表頂いた方々、御参加頂いた方々に感謝を申し上げます。